

子供向け置き畳の開発とその利活用

子供向け置き畳として、児童の持ち運びに適する大きさ、重量(床の厚さ)は、それぞれ1/8帖、約600g(2.5cm)で、PCデザインシステム、花菱織機で試作した置き畳に対して、児童は概ね良好な興味を示している。幼稚園、保育園においては、ママゴト遊び、茶作法の練習、読書や児童の体力強化等を目的とした運動遊びに活用が見込まれる。

農業研究センターい業研究所加工研究室(担当者:澤田倫平)

研究のねらい

畳表需要拡大のためには、消費者が求める魅力ある製品の開発が重要である。過去に試作したイラスト入りのミニ置き畳が、保育士、幼児期の子供を持つ母親から好評を得た経緯があり、また類似の製品の商品化も行われていない。そこで、畳表の需要拡大を目的として、子供が畳に親しむための適切な置き畳を開発する。

研究の成果

1. 就学前児童(年少(3歳児)~年長(5歳児))が自身で持ち運びするのに適切な置き畳の大きさ、重量(床の厚さ)は、それぞれ1/8帖、約600g(2.5cm)と判断された(図1)。
2. 置き畳の活用方法として、
 - (1) ママゴト(飯事)遊び、茶作法の練習、読書、休憩等に使用しており、保育士の指示で配置、片づけ等を児童自身で行っている(図2)。
 - (2) 保育士のアイデアにより、児童の体力強化を目的とした運動遊びに活用しており、既存の用具と比較して、滑りにくい等の長所を備えている(図3)。
3. 置き畳を体験した児童は、概ね良好な興味を示した(図4)。
4. イグサ生産者等を有する農業地域の約半数の保護者が家庭への導入を希望しているのに対し、非農家地域では30%程度であり、導入に関する意識の地域間差が示唆された(図5)。
5. 子供向け置き畳として、PCデザインシステム、花菱織機を用いて、以下の2種類を試作した。
 - (1) 2枚の置き畳を組み合わせると1つの絵柄になる、パズルの要素を持つ置き畳(クリスマスツリー、ヒマワリ等13組:図6)
 - (2) 1枚に1つの絵柄を描いた置き畳(アルファベット、数字、ひらがな:図7)

普及上の留意点

1. 販売に当たっては、経済性を判断し製品化する必要がある。
2. 本試験に用いた絵柄等は試作用であり、販売を行う場合には、著作権等の知的財産権に注意して作成する必要がある。
3. 置き畳を作成する場合には、花菱織機等が必要である。
4. 子供が使用するため、滑り止め等の安全面に配慮する必要がある。

【具体的データ】

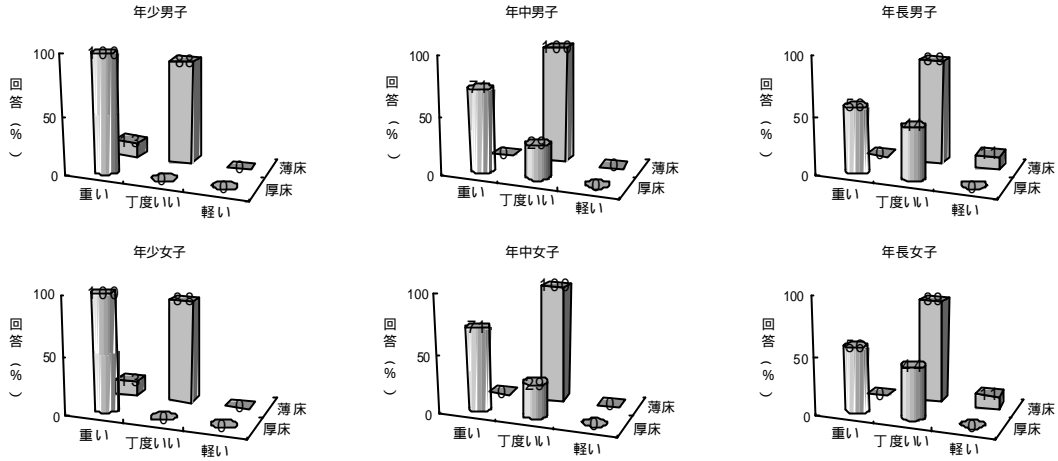


図1 各年齢、各性別の児童に適すると保育士が判断した畳床の厚さ(重さ)

- (注) 1. 保育士のパネル数: 12名
 2. 供試した畳き畳の大きさ: 43×43cm(1/8帖)
 3. 供試した畳き畳の厚さ(重量)
 厚床: 5.0cm(1.6kg)、薄床: 2.5cm(0.6kg)



図2 畳き畳の活用状況(飯事遊び等)



図3 畳き畳の活用状況(運動遊び)

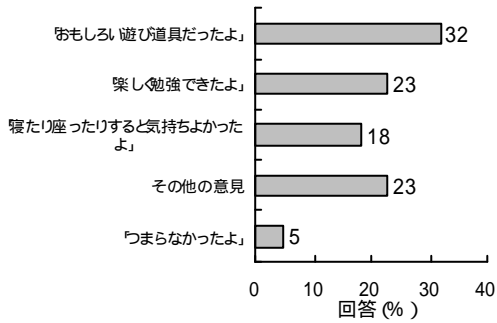


図4 体験時の児童の感想
 (注) その他 「A、B、Cの畳がよかったよ」「絵が描いてある畳があったよ」他

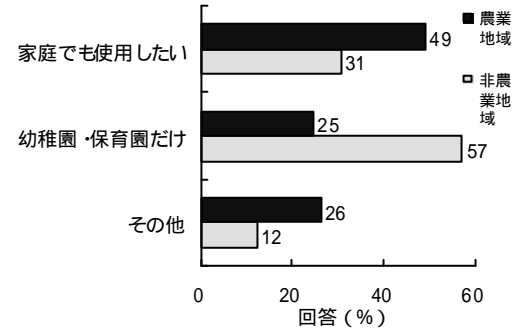


図5 保護者の導入希望の地域間差
 (注) その他 「価格次第で家庭への導入を決定」「デザイン次第で家庭への導入を決定」



図6 試作した畳き畳(パズル)



図7 試作した畳き畳(アルファベット等)